

お知らせ・会務報告

日本甲虫学会第8回大会ご案内

大会概要

会期： 2017年11月25日（土）～26日（日）

会場： 1日目 レイアップ御幸町ビルCSA貸会議室（静岡市葵区御幸町11-8）

JR静岡駅 徒歩3分(静岡駅北口地下道出口Eより直進100m)

2日目 ふじのくに地球環境史ミュージアム（静岡市駿河区大谷5762）

2日目の朝は静岡駅南口スルガ銀行前から、チャーターした大型バスが出ます。

（帰りは路線バスをご利用ください）

また、路線バスしずてつジャストラインで、直通バスが運行しています。

JR静岡駅北口バスターミナル8-B番より、美和大谷線「ふじのくに地球環境史ミュージアム」行きに乗車、終点下車（所要時間約30分、運賃360円）

※ミュージアム行きの本数は少ないのでご注意ください。

静岡駅発ふじのくに地球環境史ミュージアム行（休日ダイヤ）

10:04, 10:52, 11:40, 12:52, 13:40, 14:52発のバスがあります。

※また、同8-B番より「東大谷」行きに乗車「井庄」バス停下車、徒歩約15分（約1 km）で来館可能です。（こちらは1時間に2～3本運行）

大会会長：平井剛夫

大会事務局長：岸本年郎

大会日程（時間に変更になることがあります）

・1日目：11月25日（土）レイアップ御幸町ビル CSA 貸会議室 5-C

10:00～12:00 評議員会

13:00～15:00 公開講演会「海辺に生きる～海浜性・海岸性の甲虫たち～」

15:00～16:00 総会

16:00～16:45 学会賞授賞式・受賞講演

17:30～19:30 懇親会 ホテルセンチュリー静岡（静岡市駿河区南町18-1:静岡駅南口徒歩1分）

・2日目：11月26日（日）ふじのくに地球環境史ミュージアム



図1. 第8回大会の1日目の会場。



図2. 第8回大会の2日目の会場。

- 10:30 ~ 12:00 標本同定会・ポスター発表コアタイム
13:00 ~ 15:45 一般講演（口頭発表：2会場制を予定）
16:00 ~ 17:00 分科会

参加および発表申込

以下の項目をご記入の上、原則電子メールでお申し込みをお願いします。電子メールでの申し込みができない方は、郵送で以下へお申し込み下さい。

参加申込は10月31日（火）必着で~~マ~~切とします。

申し込み先アドレス：tetrabothrus@gmail.com（岸本年郎）

申し込み先住所：〒422-8017 静岡県駿河区大谷 5762 ふじのくに地球環境史ミュージアム 担当：岸本

大会・懇親会参加申込

10月31日までに、次の内容をお知らせください

- 1) お名前 漢字と読み
- 2) 一般・学生の別
- 3) 所属（特にない場合は在住の都道府県）
- 4) 専門分野・対象分類群および同定会講師可否
- 5) 連絡先住所
- 6) 連絡先電話番号
- 7) メールアドレス
- 8) 懇親会参加の有無

発表申込

10月20日までに、次の内容をお知らせください。講演要旨（500文字以内）は10月31日までに提出してください。時間とスペースに限りがあるため、先着順で受け付けをいたします。多数の申し込みがあった場合にはお断りする可能性もありますので、早めにお申し込み下さい。

- 1) 口頭発表・ポスター発表の別
- 2) 発表題目
- 3) 発表者氏名・所属（共同発表の場合は全員の氏名・所属）

分科会申込

10月20日までに、世話人と分科会名をお知らせください。会場数などが限られるため、先着順で6つの分科会に限って受付をいたします。

参加費（予定）

大会参加費：一般 2,000 円，学生 1,000 円

懇親会費：一般 7,000 円，学生 5,000 円

参加費・懇親会費は当日受付にて申し受けます。

発表者・分科会世話人への連絡

- ・口頭発表は質疑を含めて15分です。発表会場で使用するパソコンはOSがwindows10、ソフトはPowerPoint2013です。ご持参のパソコンも使用可ですが、MacやHDMI経由の場合は各自の対応アダプタを必ずご用意ください。
- ・ポスター発表は幅90 cm、高さ180 cm以上のスペースを準備しますので、それに収まるように作成してください。大会2日目の会場で10:00から掲示が可能です。画鋏は事務局で準備します。
- ・分科会会場は当日ご案内します。パソコンの貸出はいたしません。プロジェクターは貸出しますが、MacやHDMI経由の場合は各自の対応アダプタを必ずご用意ください。発表機器の操作はそれぞれの会場で行って下さい。

その他

- ・宿泊については静岡駅周辺が便利です。ミュージアムの近辺には宿泊施設はありません。また清水駅周辺や焼津駅周辺からも、JRですぐに静岡駅まで出られます。
- ・2日目の昼食についてはミュージアム内にレストランはありません（飲料を購入できるスペースはあります）。また、周辺に飲食店はありませんので、昼食はご自身で準備・持参をお願いします。
- ・自家用車でご来場の方は1日目の会場の会議場では、十分な駐車スペースがありません。市内のパーキングか、宿泊先の駐車場をご利用下さい。2日目の会場のミュージアムには無料駐車場がありますので、ご利用下さい。

(大会事務局 岸本年郎)

東京例会開催のお知らせ

2017年第3回例会を下記の通り開催致します。奮ってご参加ください。

日時 12月23日（土曜日） 10:00～16:30
 (当初の予定から変更となっておりますので、ご注意ください。)

場所 国立科学博物館附属自然教育園講義室
 (正門を入れて右手の建物)

[交通] JR山手線「目黒」駅東口より目黒
 通り徒歩7分。または、東京メトロ南北線
 /都営三田線「白金台」駅出口1より目黒
 通り徒歩4分。



当日の企画

1 談話会：10:00～13:00

自由な歓談の時間として会場を開放いたします。ミニ同定会や蘇虫会（自分にはさほど必要ない虫を必要とされる方に譲る会）など、内容には特に制約がありませんので、お気軽にご参加ください。

2 話題提供：13:00～14:00

土岐和多瑠：「ホホビロコメツキモドキの生態」

ホホビロコメツキモドキ属は、メス成虫の頭部が左右非対称に発達する特異な形態で知られ、アジアの熱帯から温帯にかけて約40種が分布します。従来、植物食と言われてきましたが、興味深いことに、一部の種は酵母と共生し、その酵母を食べて成長することが判明しました。今回は、左右非対称な頭部の意義と、酵母との共生関係について紹介いたします。

高崎鉄也：「せっかく集めた虫は、どうしますか」

相続は、自分が居なくなってからのことを想像するところから始まります。大切な虫の標本はどうなるでしょうか。遺族が大切に保管する話は聞いたことがありません。取引が禁止されている虫を、遺族はどう処分するのでしょうか？多くの遺族にとって、虫の標本は、迷惑でしかありません。ただし、結論は簡単です。「今すぐ対策」それだけです。その「今すぐ対策」のきっかけについてお話いただきます。

3 一人一話：14:00～16:30

4 忘年会：

当日の17時30分頃より、予定しております（会場未定）。事前にお申し込みください。申し込まれた方には、後日、会場案内等をお知らせします。

(東京例会運営幹事 高橋和弘 〒259-1217 平塚市長持 239-11 E-mail: kazu5@mg.scn-net.ne.jp)

大阪年末例会開催のお知らせ

2017年度第3回大阪例会を下記の通り開催いたします。皆様、多数ご参加ください。

日時：2017年12月9日（土）10時～16時40分

場所：大阪市立自然史博物館（大阪市東住吉区長居公園1-23）Tel. 06-6697-6221

HP: <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/> 通用門よりお入り下さい。

プログラム： 10:00～12:00 自由懇談・同定会、大阪例会運営幹事会
 12:00～13:00 昼食、休憩
 13:00～13:30 会務報告会・例会事務連絡
 13:30～15:30 講演：未定
 15:40～16:40 未定
 17:30～19:30 懇親会（場所：アサヒビアケラー・アベノ）
 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-5-36 Tel. 06-6641-6282

懇親会会費：5,000円（飲み放題）

例会・懇親会の事前の参加申し込みは不要です。当日、例会参加者はお茶代・資料代として200円を徴収いたします。懇親会は当日受け付けます。

（大阪例会運営幹事 澤田義弘 E-mail: sawada-f@gol.com）

定期購読のご案内

昆虫用品は

むし社

検索

月刊むし

B5判, 56～80頁 毎月20日発売
 定価1260円（送料100円）

「月刊むし」は、1971年3月に創刊された昆虫専門の月刊雑誌で、30年以上続いて発行されています。過去のバックナンバーの内容はむし社HPをご覧ください。
<http://homepage2.nifty.com/mushi-sha/>



558号（2017年8月号）

- アカヘリミドリタマムシの早期発生例と産卵・飼育記録
- アカマダラハナムグリ採集記 in 石川県

559号（2017年9月号）

- フレンチ・ギアナ探訪記
- 中国産セダカオサムシ類の新種、新亜種および希少種（3）
- 奄美大島からウエノチビケシゲンゴロウ
- ナガケシゲンゴロウの捕食行動について

「月刊むし」定期予約購読

本誌は一般書店での販売のほか、定期予約購読も行っております。定期予約の場合、送料は無料で、次のように誌代も割引となりますので、ぜひご利用下さい。

6ヶ月 予約 定価 7560円 → 7300円
 12ヶ月 予約 定価 15120円 → 14600円
 24ヶ月 予約 定価 30240円 → 29200円

お申し込み方法

郵便振替用紙に「月刊むし予約」と明記のうえ、下記の口座あてにご送金ください。
 郵便振替口座 00160-5-159262 むし社
 新規お申し込みは、当月発売分よりとさせていただきます。

月刊むし・昆虫図説シリーズ9
日本のセンチコガネとその仲間

謎の多いセンチコガネとその仲間
 9種の魅力を満載した1冊！

美麗な標本の他に、センチコガネの糞の運搬シーンなどの貴重な生態シーンを多数の写真で紹介。

著者：塚本圭一・稲垣政志・河原正和・森 正人
 A4判118頁（48カラー頁）

定価 6,912円 [税込み・送料サービス]

むし社

〒164-0001 東京都中野区中野 2-23-1-209

Tel. 03-3383-1461～1462

Fax. 03-3383-1467



「昆虫こわい」丸山宗利（著）.
263 pp.新書版・オールカラー. 幻冬舎.

虫の本はふつう売れないのである。ある大手出版社の編集者Aさんが「虫の本はあまり売れないのよ」と、私の持参した企画をやんわり退けたことがあった。その企画はとて有名な著者のものだから、これはどうも本当のことらしい。実際に別の版元から陽の目を見た件の虫の本は、やはりたいして売れなかったのである。それでも表題の著者の本は売れているらしい。2014年に光文社から出た「昆虫はすごい」は、13万部超のベストセラーであるという。

その丸山宗利さんと一緒に、今年の初めにフレンチギアナに採集に行く機会があった。同地で採集経験のある彼が、宿泊先や航空便の手配ばかりでなく、仔細な現地情報を事前に教えてくれたから、南米初体験の私でも安心して採集旅行を楽しむことができた。最大の目的だったタイタンオオウスバカミキリも、同行のカミキリ屋2人とともに1頭ずつだが手中に収めたのである。

それにしても、アマゾン熱帯雨林の昆虫の多様性はすばらしかった。灯火採集では、それこそあらゆる分類群の昆虫が飛来した。とくに蛾と半翅類の仲間が多く、昼行性の蝶でさえ少なからず飛んでくる。そのように連夜にわたり賑やかな宴が続いたが、唯一の不満

があるならば、私が専門とするカミキリムシが非常に少ないことであった。それは事前に聞いて覚悟していたが、そもそもこの季節は甲虫の仲間が少なく、タイタン以外に目ぼしいカミキリは採れないらしい。

丸山さんは毎日の夕食後に私たちのロッジを訪ねてきて、小さな殺虫管を渡してくださるのであった。灯火採集に来たツノゼミを採っておいでくれという。彼はハネカクシを始め好犠性昆虫の専門家だが、最近ではツノゼミにも凝っているそう。しかし甲虫と違い、この時期は半翅類のツノゼミが非常に多く、一晩で100種くらい採るのである。カミキリが減多に来ないこともあり、手持無沙汰の私たちは、請われるままに連夜ツノゼミを集めてはそれを翌朝に召し上げられる。ふと気づけば、半ば丸山さんの採り子となっていた。

本書の表題のように、私には昆虫はこわくないが、いっぽう丸山宗利おそるべしである。もっとも「昆虫こわい」は古典落語の「饅頭こわい」をもじったもので、翻意は昆虫大好きということらしい。本書は、南米やアフリカ、熱帯アジアなどで著者が体験した採集調査の様子が興味深く綴られている。読み進めていくと、私には真っ先にあのアマゾン熱帯雨林の夜が思い出された。虫採りは目的の虫が採ればよし、採れなくても愉快的思い出だけは残るものだ。そんなワクワク感が居ながらにして味わえる本書は、虫屋であれば誰が読んでも楽しめる名著だと思う。

(新里達也)



目 次

■解説

林 成多・吉富博之：水生ナガハナノミ科幼虫概説... 1

■論文

渡部晃平・須田将崇・福富宏和：生息域外保全を見据えたゲンゴロウ類の効率的な飼育方法—ヤシャゲンゴロウを中心として— 6

有本久之・有本晃一：ヤマトクロコメツキの形態について 14

高橋和弘：鹿児島県下甑島のジョウカイボン科 ... 17

有本晃一：大東諸島のコメツキムシ相 20

■短報

渡部晃平：ホソセスジゲンゴロウの色彩変異について 13

榎原 寛・加賀谷悦子：石垣島中央部森林地帯で2月下旬に採集されたイリオモテボタル 16

平野幸彦・吉田一樹：チビケセスジエンママシの八重山諸島の記録 19

芦田 久・鎌田邦彦：福井県におけるタカオチビゴミムシの記録 25

渡部晃平・戸田尚希・福富宏和：石垣島におけるチュウガタマルケシゲンゴロウの初記録 26

吉村優杏・渡部晃平：小浜島におけるマルケシゲンゴロウ属2種の初記録 27

吉富博之・久松定智：キガシラタマキスイを北海道で採集 28

岡野良祐・吉富博之：西表島におけるタイワンヒメトゲムシの記録 29

高橋和弘：島根県浜田市におけるハヤトクビボソジョウカイの記録 29

西田光康：セボシヒメテントウの斑紋変異の一例... 30

伊藤建夫・吉田正隆：ドウガネアナバケハネカクシ奈良県から初記録 31

渡部晃平・北野 忠・佐野真吾・苅部治紀・秋田勝

己：三重県におけるニセコクロヒラタガムシの初記録 32

榎原 寛・吉武 啓：甑島列島上甑島未記録のカミキリムシ科3種の記録 32

林 成多・茶珍 護：群馬県でツブスジドロムシを採集 33

保科英人：ハンベエヒゲプトチビシテムシの山梨県初記録 34

保科英人：オキナワダルマタマキノコムシの奄美大島初記録 34

伊藤建夫：ユミセスジホソカタムシの奈良県からの記録 35

西田光康：佐賀県で得られたヒメゾウムシ2種の記録 35

有本晃一・伊藤玲央：種子島，北大東島におけるシバオサゾウムシの記録 36

黒田悠三：シラフクモゾウムシの京都府からの初記録と寄主植物について 36

須田 亨：ホソキボシアオゴミムシ幼虫の採集記録と生態等について 37

名越和夫：北海道上ノ国町でルイスホソカタムシを採集 38

■書評・論文紹介

「昆虫こわい」 43

■お知らせ・会務報告

さやばね No. 23 の訂正とお詫び 31

日本甲虫学会第8回大会ご案内 39

東京例会開催のお知らせ 41

大阪年末例会開催のお知らせ 42

さやばね ニューシリーズ 第 27 号

発行日 2017 年 9 月 30 日

次号は 2017 年 12 月下旬発行予定

発行者 野村周平

編集者 吉富博之（委員長），大林延夫，谷角素彦，小島弘昭，奥島雄一，保科英人，中峰 空，簗島悠介

発行所 日本甲虫学会

〒 305-0005 つくば市天久保 4-1-1

国立科学博物館動物研究部

電話 03-3364-2311

原稿送付先（さやばねニューシリーズ）

〒 790-8566 愛媛県松山市樽味 3-5-7

愛媛大学農学部環境昆虫学研究室 吉富博之

電子メール：hymushi@agr.ehime-u.ac.jp

印刷所 株式会社ハラプレックス

年会費 一般会員 8,000 円（前納制）

学生会員 5,000 円（前納制）

郵便振替口座番号 00880-2-190472

ホームページ <http://kochugakkai.sakura.ne.jp/>